

令和8年3月12日

第88回 法人企業景気予測調査結果（四国地方の概要） （令和8年1～3月期調査）

企業の景況判断は2期ぶりに「下降」超

【景況判断】

全産業の景況判断BSI（1～3月期）については、物価高の影響がみられるほか、価格転嫁の進展に一服感がみられることなどから、▲10.8%ポイント（前回の1.8%ポイントから12.6%ポイント下降）となり、「下降」超に転じる。

先行き（翌期）については、価格転嫁の進展や増産の効果などから、▲2.5%ポイントと「下降」超幅が縮小する見通し。

製造業：前回1.3%ポイント ⇒ 今回▲11.2%ポイント（12.5%ポイント下降、下降超に転じる）

「金属製品」：これまでに価格転嫁が進み、今期は一旦落ち着いたことなどから下降超に転じる

「食料品」：物価高の影響やさらなるコストの増加に価格転嫁が追いついていないことなどから下降超に転じる

「鉄鋼」：国内需要の高まりによる受注の増加などから上昇下降同数

非製造業：前回2.0%ポイント ⇒ 今回▲10.6%ポイント（12.6%ポイント下降、下降超に転じる）

「建設」：受注の減少やさらなるコストの増加に価格転嫁が追いついていないことなどから下降超に転じる

「卸売」：人件費の増加の影響などから下降超に転じる

「不動産」：オフィス需要の増加などから下降超幅が縮小

【従業員数判断】

全産業の従業員数判断BSI（1～3月期）については、引き続き多くの業種で人手不足感があることから、33.2%ポイント（前回の33.0%ポイントから0.2%ポイント上昇）の「不足気味」超となっている。

先行き（翌期）についても、29.0%ポイントの「不足気味」超となっており、企業の人手不足感は継続する見通し。

【問い合わせ先】

四国財務局 財務広報相談室
四国財務局 経済調査課

TEL087-811-7780（内線260）
TEL087-811-7780（内線250）